


# 「あなた」と オープンソース/フリーソフトウェア、 そして「Debian」



@ オープンソースカンファレンス 2008 Tokyo/Fall

やまねひでき (Debian JP Project, Auditor)  
<henrich @ debian.or.jp>

<http://wiki.debian.org/HidekiYamane>

ご来場ありがとうございます

- 与太話セッションへようこそ
- 技術的要素はほとんどなし。
- 「あ、なんか間違えたかなー」  
と思った方
  - 悪いことは言わないのもっと為になるのを  
受講してください ;-)

# 今回のお話について

- 気楽に話をするセッションです :-)
- あくまでも私から見た視点です。  
「こんな見方があるんだよ」と思ってください
- 質問は随時OK、ただし長くなりそうな場合はあとでまとめてお願いします。
  - 最初にお名前をお願いします
  - 周りの人に聞こえるようにハッキリ発言ください
  - オフレコな話の場合は皆さん心の中にしまっておいてあげてください :-)

# 自己紹介



- やまねひでき
  - FLOSS な活動の始まりは日本Sambaユーザ会
  - Debian の利用者 / パッケージの作成者
    - Debian JP Project 監事
    - [www.jp.backports.org](http://www.jp.backports.org) 管理者
    - [www.debian.or.jp](http://www.debian.or.jp) ウェブマスターな人の一人
    - 「Debian でハッピー」という事例を最近集めてます
  - Ubuntu Japanese Team メンバー
    - [ubuntu.mithril-linux.org](http://ubuntu.mithril-linux.org) = ubuntu mirror 管理者
    - Debian-Ubuntu の日本でのHubの一人になりたい

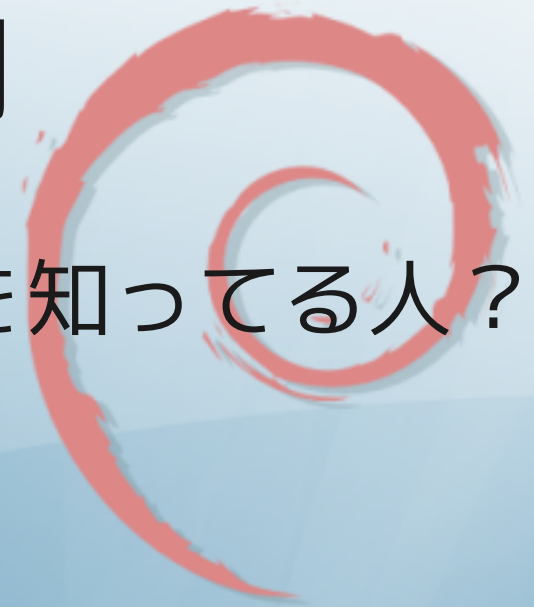
# 本日のアジェンダ



- オープンソースソフトウェア(OSS)
  - 歴史と成り立ち ~ Free software, DFSG から OSD へ
  - ライセンスと開発形態
- 利用者/開発者にとってのFLOSS
- FLOSSの社会的意義
  - 競争状態の創出
  - インフラストラクチャ整備が新たな産業創出を生む
  - 知の共有 = 「巨人の肩に乗る」
  - 知財問題

# 早速質問の時間

- 「オープンソース」という言葉を知ってる人？
- 「フリーソフトウェア」
- 「FLOSS」 (Free/Libre Open Source Software)
- 「Debian」

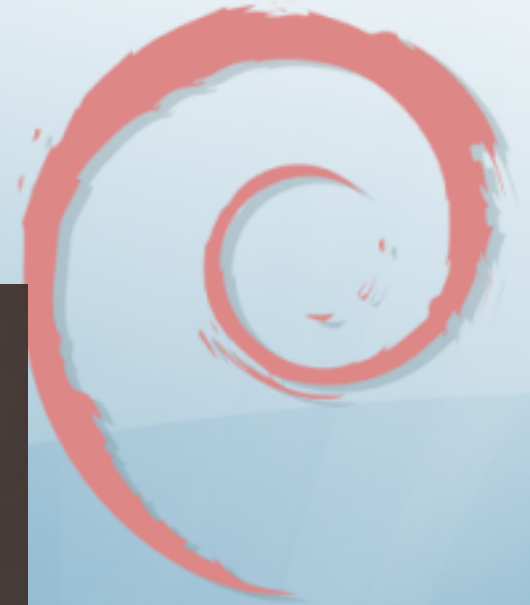




# 歴史と成り立ち

～ Free software, DFSG から OSD へ

# Who is he?



リチャード M ストールマン (1953-)



# Crazy idea = Free Software



- 「ソフトウェアは自由であるべきだ！」
  - 自由に利用したい
  - 自由に改変したい
  - 自由に配布したい
    - どう考えても Crazy
    - …しかしこれがすべての始まり

# 「フリーソフトウェア」の始まり



- GNU / Free software のはじまり
  - 1983 ストールマン、GNUプロジェクトを思い立つ。
  - 1984 GNUマニフェスト

# GNU マニフェスト



- 「…プログラムの一部または全てを複製することは、プログラマにとって呼吸するのと同じくらい自然なことであり生産的なものである。だから、プログラムはフリーであるべきである。…」

– 一部のみ抜粋。

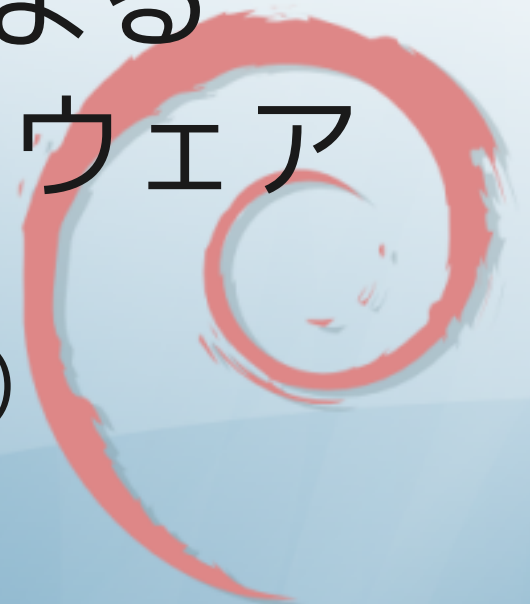
- 非常に示唆に富んでいる文章。
- <http://www.gnu.org/japan/manifesto-1993j-plain.html>で読めます

# すべては 「フリーソフトウェア」から

- GNU / Free software のはじまり
  - 1983 ストールマン、GNUプロジェクトを思い立つ。
  - 1984 GNU宣言
  - 1991 GNU General Public License2 (GPL2)

# GNUプロジェクトによる 代表的なフリーソフトウェア

- GIMP, GTK+, GNOME (1997年開始)
- gettext
- GnuPG
- gcc, gdb, coreutils
- Emacs
- wget
- grub, glibc



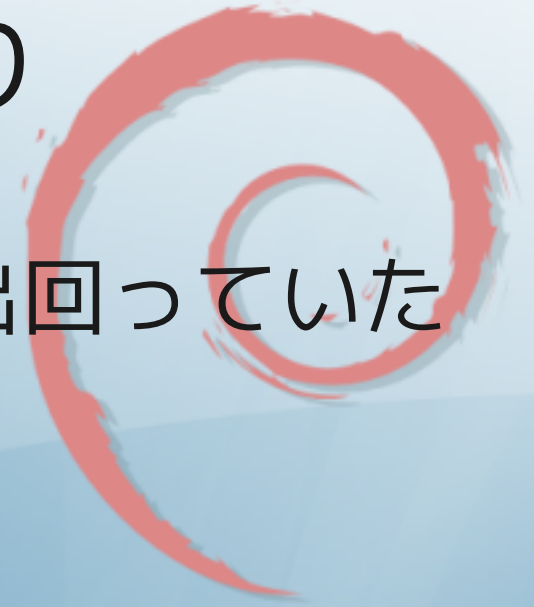
# インターネットと Linux




- 1991 年 大学生 Linux Torvals が news group に Linux を投稿
  - 寄ってたかって皆が開発
    - Minix への不満
    - GNU Hurd は未だ完成していない
    - \*BSD は AT&T との裁判係争真っ最中
      - 386BSD はそもそも改善しようにも動きがない…
  - 爆発的發展へ

# Debian の始まり

- 各種ディストリビューションが出回っていた
  - SLS とか、Yggdrasil など
    - …がひどいもの。
  - 1993 大学生が切れた
    - 「俺が作る！」 by Ian Murdock
    - Debian Project の始まり
      - 最初のころは Free Software Foundation のお世話になった
      - やがて独立



# Debian フリーソフトウェアガイドライン の成立



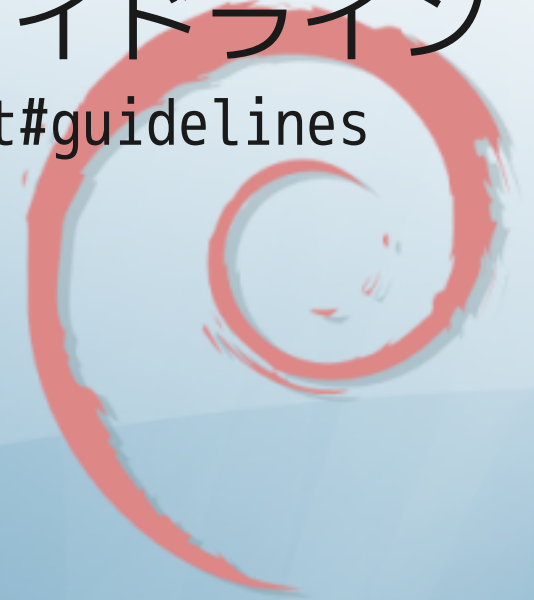
- 1997 年 6 月成立
- Debian が考える  
「フリーなソフトウェアとは何か？」の定義
  - GNU (Free Software Foundation) とは  
また違う考え方
    - 良くある誤解  
「Debian GNU/Linux だから Debian は GPL だけで  
構成されている」
      - ちゃうねん



# Debian フリーソフトウェアガイドライン

[http://www.debian.org/social\\_contract#guidelines](http://www.debian.org/social_contract#guidelines)

1. 自由な再配布
2. ソースコードの入手
3. 派生ソフトウェア
4. 原作者によるソースコードの整合性維持
5. すべての個人、団体の平等
6. 目標分野の平等
7. ライセンスの配布
8. ライセンスは Debian に限定されない
9. ライセンスは他のソフトウェアを侵害しない
10. フリーなライセンスの例



# DFSG?

- GNU のフリーソフトウェア以外 **も** 「フリー」と考える
  - ある意味現実との妥協の産物
  - でも 「**選択の自由**」 も大切だよ



も 「フリー」

# 「オープンソースソフトウェア」 の始まり

- 1998年2月3日 Netscape のコードを公開するに当たって名づけられた
  - その結果 = Mozilla
  - フリーソフトウェアと同様の性質を持つが、その名前や運動と関連付けられるのをビジネス的にマイナスと考えたため生み出された「マーケティング」用語
  - <http://opensource.org/history>

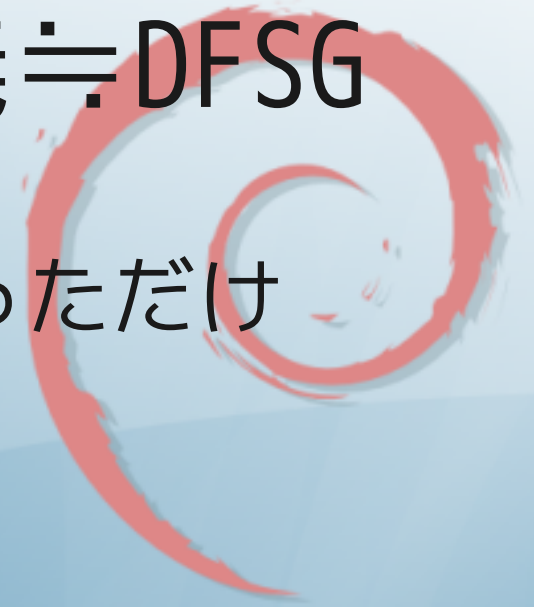
# オープンソースの定義 (OSD)



1. 自由な再頒布ができること
2. ソースコードを入手できること
3. 派生物が存在でき、派生物に同じライセンスを適用できること
4. 差分情報の配布を認める場合には、同一性の保持を要求してもかまわない
5. 個人やグループを差別しないこと
6. 適用領域に基づいた差別をしないこと
7. 再配布において追加ライセンスを必要としないこと
8. 特定製品に依存しないこと
9. 同じ媒体で配布される他のソフトウェアを制限しないこと
10. 技術的な中立を保っていること

# オープンソースの定義 ≡ DFSG

- 「Debian」という単語を取っ払っただけ

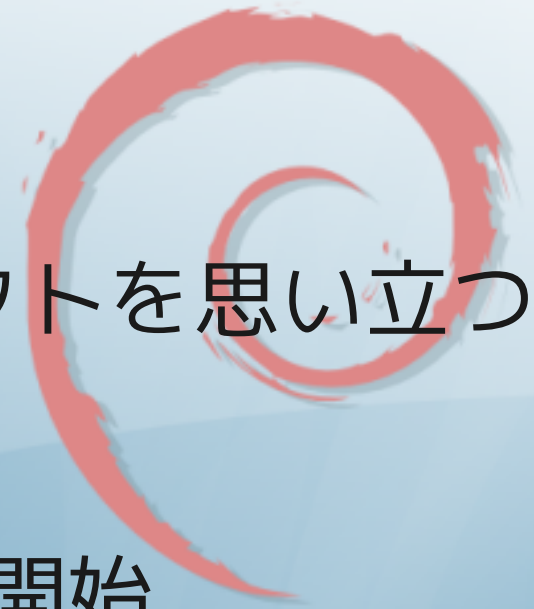


# 「フリーソフトウェア」じゃダメだったの？

- 「フォーチュン500企業をターゲットに」
  - Linuxを中核に切り込もう！
  - フリーソフトウェアだと「理念」が全面に出過ぎ？
- 繰り返すが「マーケティング」用語
  - 書籍「オープンソースソフトウェア」
    - 彼らはいかにしてビジネススタンダードになったのか- 第15章
  - [http://www.oreilly.co.jp/BOOK/osp/OpenSource\\_Web\\_Version/chapter15/chapter15.html](http://www.oreilly.co.jp/BOOK/osp/OpenSource_Web_Version/chapter15/chapter15.html)

# 歴史まとめ

- 1983 ストールマンGNUプロジェクトを思い立つ
- 1984 GNUマニフェスト
- 1991 GNU GPL2成立、Linux 開発開始
- 1993 Debian プロジェクト開始
- 1997 Debian フリーソフトウェアガイドライン
- 1998 オープンソースの定義
- 2008 現在





# ライセンスと開発形態



# OSSなライセンス



- OSD 準拠であれば「OSSライセンス」と言ってもよい
  - GNU GPL2/3, LGPL2.1, 修正 BSD, Artistic License 2.0, MIT, X, Apache2.0, etc...
- Debian 的「フリーソフトウェアライセンス」(DFSG-Free) は間違いなくOSSライセンス
  - が、Debian 的にはよりフリーかどうかを常に自問自答している。(例: GFDL)
    - Creative Commons 3.0 は、その策定にあたって、Debian プロジェクトと協業した。CC 3.0 BY-SA は DFSG-Free

# GNU のフリーソフトウェア オープンソースソフトウェア Debian フリーソフトウェア

GNU の「フリーソフトウェア」

Debian での  
「フリーソフトウェア」

オープンソース  
ソフトウェア

# ライセンス = プロトコル

- Q: ソフトウェアを公開する場合のライセンスは何かが良い？
- A: OSI の代表的ライセンスを使うのが吉
  - 既存ライセンスではダメな場合に独自ライセンスを模索する
    - 既存ライセンスだと理解が早い  
例: 「このソフトのライセンスは？」 「修正BSD」
  - プロトコルを新たに実装するとバグが…
    - FLOSSライセンスは広い分野で数年に渡って叩かれ続けたライブラリのようなもの

# 開発形態



- 大抵は「コミュニティによる分散開発」
  - 公開して地理的にも会社的にも業務的にも全然違う人らが幾人かで色々いじくり回す
    - MLに流したりblogとかに書いておくと、何時の間にか…
    - 英語とかで書いておくとさらに色々…
  - ミーティングもチャット、意思決定も多くはメール
  - たまにカンファレンス等で顔を合わせる
- 業務開発とは真逆
  - 一つの部屋で折りたたみの机と椅子並べて、協力会社という名前の人と開発作業…orz

# 最低限必要な環境



- ソースが公開されてる
  - SVN, gitなどで容易に参照可能な repository
- それなりに情報が集まっているページ
- メーリングリストなどの過去の議論が容易に追えるアーカイブ
- sourceforge.jp オススメ
  - SVN あるし
  - Wiki も使えるし
  - メーリングリストもあるし
  - Debian な人が開発やってるし

# ちょっと似ている開発形態



- 「オフショア開発」
  - アメリカ → インド
  - 日本 → 中国、ベトナム
- オフショアって失敗例ばかり聞くんですが…
  - 仕事でやるのと「自発的にやる」のは大違い
  - 「文化のすり合わせ」が出来てないからミスコミュニケーションが多い

# 大抵失敗する オープンソース開発方法

- 「会社のプロダクトをオープンソースに」
  - ソースコードを公開したら皆使う？
    - オープンソース幻想（ファンタジー）
- 必要なのは「興味を引く」内容と惹きつけ方
  - インターネットは「アテンションエコノミー」
  - 身内=会社の人だけのコミュニティは衰退する
    - コミュニケーションがオンライン外だけで行われると、自然と人の足は遠のく

# 大抵失敗する オープンソース開発方法

- 「コミュニティを作る」
  - コミュニティ幻想（ファンタジー）
  - 自発的に出来てくるものであって、マーケティング先行でうまくいくことはほとんどない（空回り）
    - 情報を公開して素地を作ること自体は重要
  - 過度のガバナンスは萎縮をもたらす
    - 「こうあるべきだ！」は危険
- 「一人でやる」症候群
  - 波があるので何時の間にか開発停滞…。
    - fml... ;-(



# ライセンスと開発形態まとめ

- OSSライセンスは OSD という形でまとめられているので、それを使うのが良い
  - GNU/Debian/OSDで若干解釈が違う
  - ライセンスはプロトコル！
  - 既存ライセンスはいろんな環境で叩かれつづけたライブラリ
- 開発はコミュニティによる分散自発的開発
  - ソースが公開されているだけではダメ
  - コミュニティが生まれる「土壌」を作る



# 利用者／開発者にとってのFLOSS

# FLOSS であること自体は いいことだらけ

- 「自由」の利点を享受できる
  - 自由に入手できる（参考にできる）
  - 改変もできる
  - 必要であれば再配布もできる
    - もしかしたら自分の欲しい機能を実装する人が現れるかも…
  - ソフト自体は無償で入手可能でコストメリットもある
  - ベンダーロックイン/パクスアメリカーナ回避（西ヨーロッパ、南米圏で顕著）



# 新しい流れが生まれてくる土壌



- Debianから生まれた派生ディストリビューション
  - knoppix
  - Xandros (EeePC)
  - Linspire
  - Ubuntu (Dell)

# プロプライエタリソフトウェア も良い点があるよ？

- それは「提供ベンダの品質／サービス」が良いのであって、ソフトウェアのライセンス的にメリットがあるわけではない
  - FLOSS 以外のライセンスは「利用者の自由を制限」するためにある

# GPL 汚染？



ビジネス上、ライセンス  
があることを理解して  
使っていない時点で  
法務的にアウトだろ、  
常識的に考えて...

# GPL 汚染？

- そもそも GPL なコードを使わずにスクラッチで作ればそんなこと言わずに済む
  - プロプライエタリなライセンスだと場合によっては汚染どころの騒ぎじゃない
  - 「金銭的に多額の賠償金」の例がある？



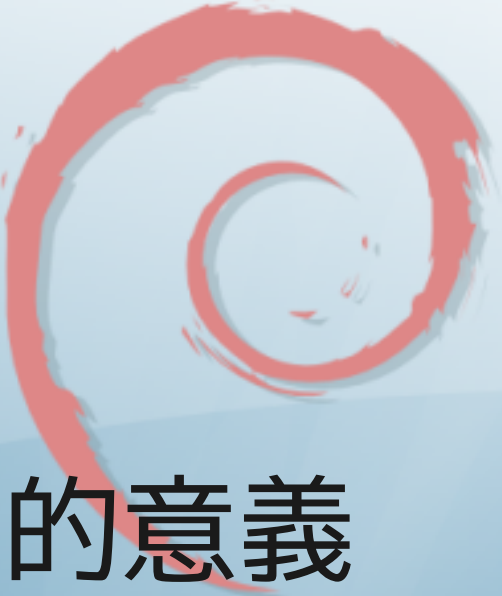
# オープンソースの社会的意義



# オープンソースの社会的意義



- 競争状態の創出
  - 独占状態による「収奪」の構造の破壊
- 社会福祉（マスが確保できない分野）
  - 少数民族語圏での母国語サポートなど
    - ゾンカ語版Linux@ブータン
- 私企業一社依存状態のリスク削減
  - 政治的に対立したときどうなる？
  - その企業が破綻したときは？
  - 「選択」の確保

A red spiral graphic is located in the upper right quadrant of the slide. It consists of several concentric, hand-drawn style rings that spiral inward from the top right towards the center of the slide.

# オープンソースの社会的意義 ～経済的側面

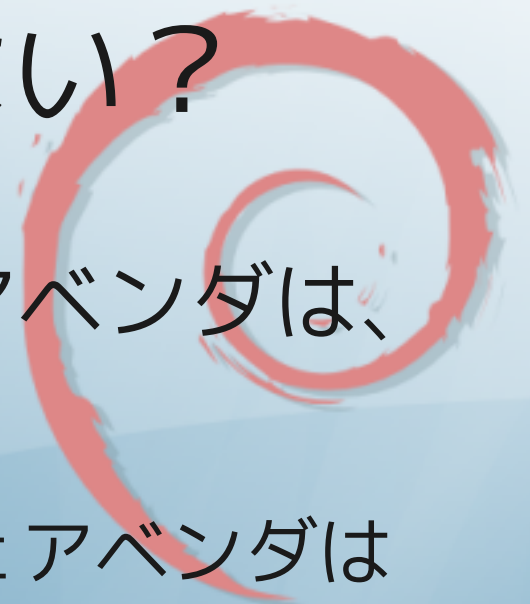
# インフラストラクチャ整備が 新たな産業創出を生む

- 「電報」「ポケベル」「ケータイ」を考えよう
  - 需要は変わらず、形を変えて産業創出が行われる
    - インフラが整って導入コストが低くなることによる
      - インターネット
      - 家電／携帯電話
      - 企業内部システム（SFA、データマイニング等…）

# インフラストラクチャ整備が 新たな産業創出を生む

- 「ちょっと新しいこと」のコストとリスク
  - Web 企業は何を基盤にしている？
  - スタートアップコストは？

# 商用ソフトが売れない？

A red spiral graphic is located on the right side of the slide, starting from the top right and spiraling outwards.

- そもそも売れているソフトウェアベンダは、  
極々一部でしかない
  - しかも存続し続けているソフトウェアベンダは  
極小数。

# 米国でのソフトベンダトップ10 1984年 & 2001年

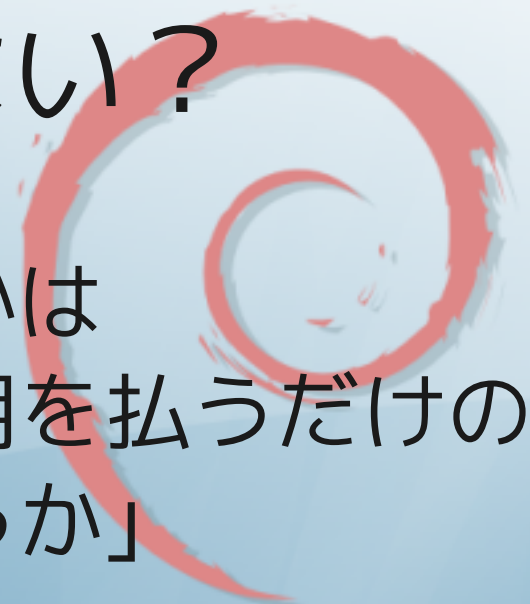
## • 1984年

1. マイクロプロインターナショナル  
(年間収入：60,000,000 ドル)
2. マイクロソフト  
(年間収入：55,000,000 ドル)
3. ロータス
4. デジタルリサーチ
5. ビジコープ
6. アシュトン・テイト
7. ピーチツリー
8. マイクロフォーカス
9. ソフトウェアパブリッシング
10. ブロードーバンド

## • 2001年

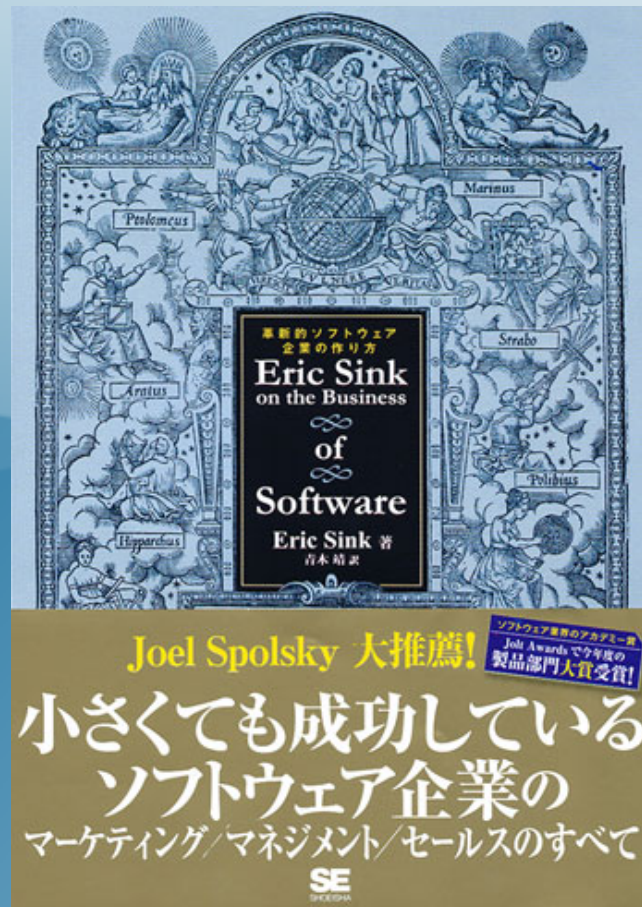
1. マイクロソフト  
(年間収入：23,845,000,000 ドル)
2. アドビ  
(年間収入：1,266,378,000 ドル)
3. ノベル
4. インテュイット
5. オートデスク
6. シマンテック
7. ネットワークアソシエイツ
8. シトリックス
9. マクロメディア
10. グレートプレインズ

# 商用ソフトが売れない？



- 商用ベンダが生き残れるかどうかは「お金を持っている所にその費用を払うだけの価値があると思わせられるかどうか」
  - これから商業的に大成功するソフトウェアベンダはおそらく新規には現れない。
  - 自動車産業と一緒に
    - でも、働く人が「成功」するだけの余地はいくらでもある
    - 「Eric Sink on the Business of Software」読んでね

# Eric Sink on the Business of Software

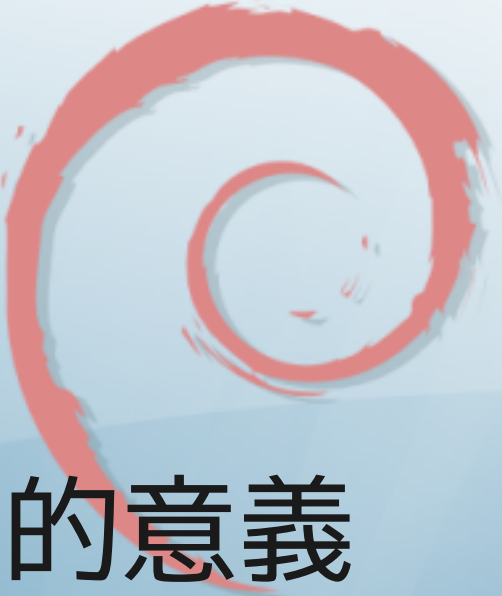


Microsoft方面開発者向けソフト (SourceSafe や VisualStudio へのアドオンなど) で商売をしている著者による小規模ソフトウェアベンダのためのお話

## 超お勧め

(個人ではDebian使ってるところも評価++)

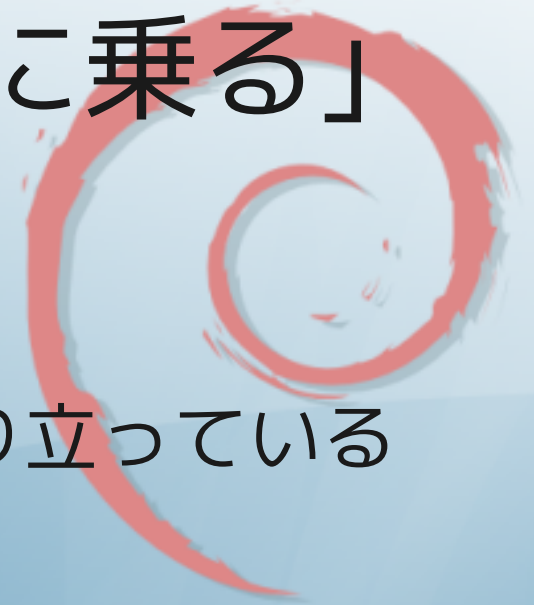


A red spiral graphic, resembling a stylized sun or a decorative element, is positioned in the upper right quadrant of the slide. It consists of several concentric, hand-drawn style rings that spiral inward from the outer edge towards the center.

# オープンソースの社会的意義 ～文明的側面

# 知の共有 = 「巨人の肩に乗る」

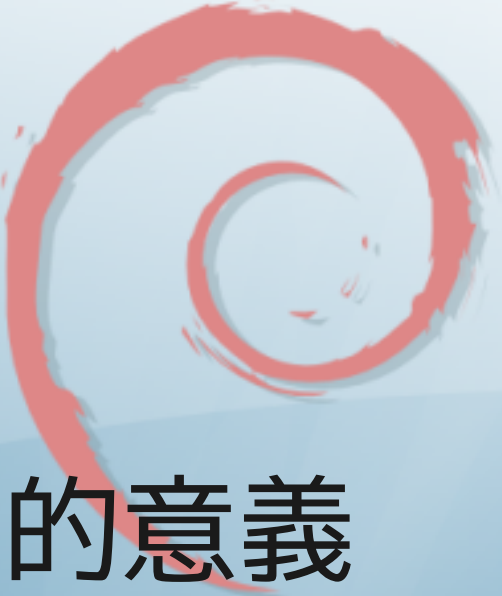
- By アイザック・ニュートン
  - 偉大な発見は先人の知識の上に成り立っている
  - 知識が「秘術」であったら？



# 知の共有で価値は下がる？

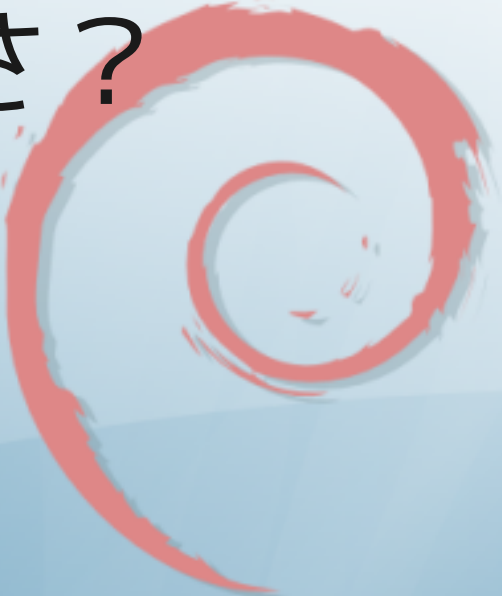


- 知識が公開されていても、複雑になればなるほど、専門家の価値は高まる
  - 例：法律と弁護士
- ソフトウェアが様々な場所で使われれば、「専門家」はより必要とされる
  - 通り一遍の上っ面を知っているだけの「自称専門家」は Google さんを使う素人に負ける

A red spiral graphic, resembling a stylized sun or a vortex, is positioned in the upper right quadrant of the slide. It consists of several concentric, hand-drawn style rings that spiral inward from the top right towards the center.

# オープンソースの社会的意義 ～現状の課題

# 知財はどうなるのさ？



- 知財？

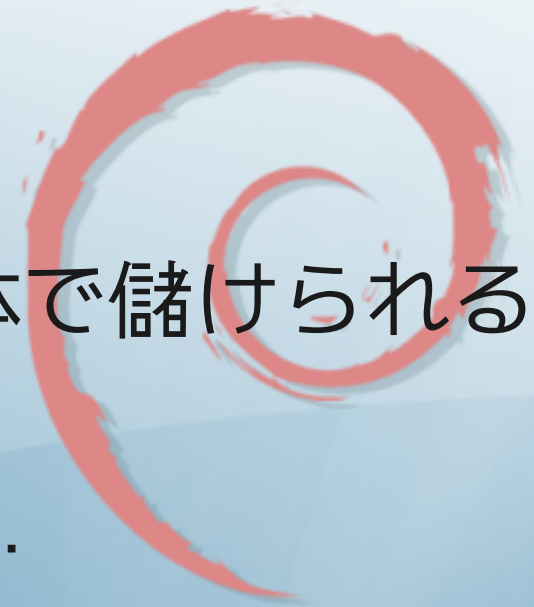
- Intellectual Property の訳

- 知的財産権、らしい。

- ソースコード自体、著作権、特許権、コンテンツ、  
商標権など…

# 特許？

- ソフトウェアについて、特許自体で儲けられる所はほとんどない
  - 製造業だとまた別だと思いますが…
  - どちらかというと「牽制カード」や「クロスライセンス」収益
- 「パテント・トロール」の危険性
  - 社会的なイノベーションの必要性和私企業の利益の衝突例
  - 社会的に、損失と利益を考えて動かないといけない



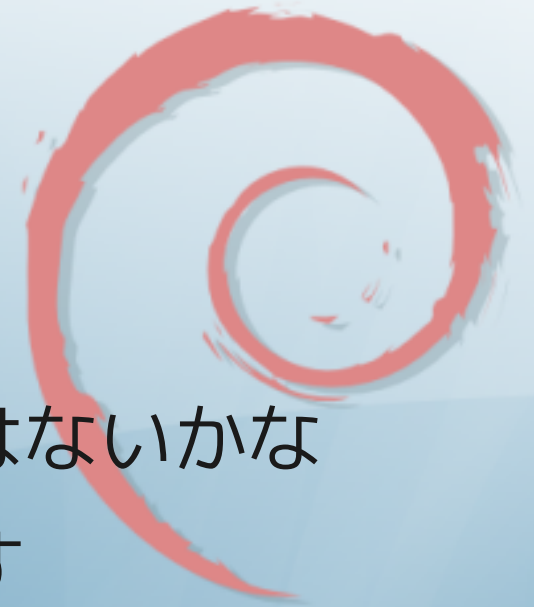
# コンテンツ

- コンテンツの取扱いは難しい問題…
  - 映像、画像、音楽、ゲーム…
    - 娯楽ものは別の取扱い（フェアユース）が必要かも？
  - 安易な DRM は危険
    - ウォルマートを見よ！
- フリーコンテンツが増えること自体は社会的に利益をもたらす
  - 自由に使える素材が増える
  - Creative Commons



# 商標？

- まったく別問題
  - レイヤ違いで共存できているのではないかな
  - Linux, Debian も商標登録してます
    - 「防衛」のために取らざるを得なかった…。
  - Mozilla のはまた別問題
    - (商標+ロゴマーク) × 商標ポリシー





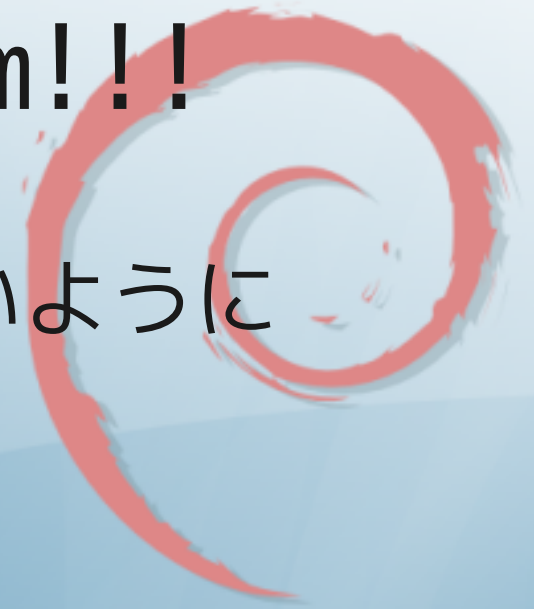
# 本日の（強引な）まとめ



- 歴史的にOSSはフリーソフトウェアとDebianの流れの延長線上にある
  - OSS は、元々マーケティング用語である
- オープンソースはライセンスと開発形態の側面から見る事が出来る
  - 既存ライセンス = 良いプロトコル
  - 良いコミュニティ = 自発的な人の集まり
- FLOSS は社会／経済に良い影響を与える
  - 知財問題はまだまだ折り合いを考える必要がある

# Don't label them!!!

- レッテルを貼って思考停止しないように
  - OSSサイコー！で終わり？



# Think!



What is "Open"?

What is "Free"?

What is "Standard"?

What is "Innovation"?

What is "Commons"?

What is "Profit"?

etc...



Thank you.